

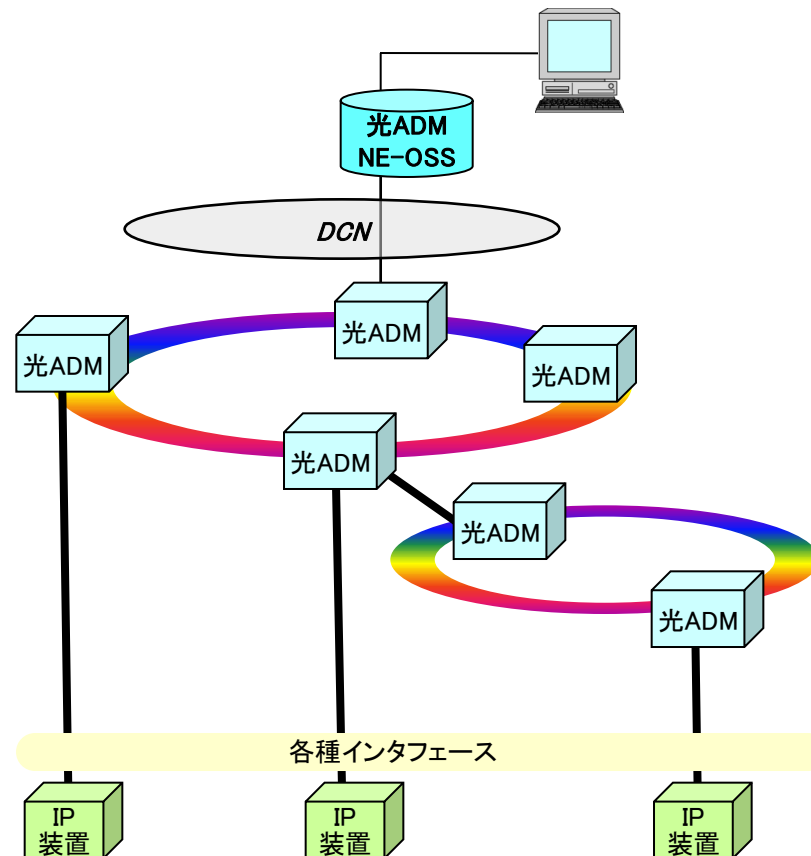
リング形波長多重システム(リンク)

多様なトラヒックを収容できる柔軟な次世代ネットワークを経済的に構築するため、伝送容量のさらなる拡大、光ファイバの利用効率の向上などを目的として、光ADM*システムの研究開発を行ってきました。

IP装置などからの急増しつつあるトラヒックを、経済的かつ効率的に収容するために、波長多重技術を利用した光ADMシステムを開発しました。光ADMシステムでは、これまでと比較して、飛躍的な伝送容量の拡大、光ファイバの利用効率の向上が図られています。さらに、光ADMシステムとIP装置などを接続するための光インターフェースの長距離化開発を実現し、一層の設備投資抑制を可能にしました。

* 光ADM: 光Add Drop Multiplexer

●光ADMシステムの概要



NE-OSS: Network Element-Operation Support System
DCN: Data Communication Network